

@スポ天少年野球大会
感染予防対策ガイドライン（案）

2020年7月3日現在
株式会社チューリップテレビ
（「@スポ天少年野球大会」事務局）

1【感染予防対策】

(1) 参加募集時の対応（参加者への事前注意事項）

- ・大会参加募集に際して、感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項（以下）を明確に伝え、協力を求めることを通知する。なお協力が得られない参加者には他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることが有り得ることも周知する。
- ・発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚、嗅覚を感じない者の参加は認めません。また14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めません。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めません。
- ・選手、チーム関係者、役員、審判員、大会運営スタッフは球場に入る際、マスクを着用する。
また、試合時の攻守交替決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は各々マスクを着用して行う。
- ・手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- ・大会当日、参加者全員の健康状態、連絡先等が明記されている名簿を提出すること。
- ・屋外利用施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ・感染者が発生した場合には大会を中止とする。
- ・大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する可能性があることを周知する。

(2) 参加者の対応

- ・参加者は検温を実施し会場に来ること。
- ・参加者（各チーム代表者）は健康管理チェックシートを運営本部に提出する。
- ・人との距離を2メートル確保する。ベンチ内では一定間隔を保つように努力すること。
- ・練習や試合において全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ・競技中のマスク着用については、選手、審判員の判断とするが、ベンチ内に居る時には、全員がマスクを着用することを推奨する。ただし、熱中症予防に配慮すること。
- ・肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索すること。
- ・会場で出たゴミは各自持ち帰ること。
- ・応援者については観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦するようにチームごとで応援者に注意喚起を行うこと。

※一部運営側より放送による呼びかけ、会場での声かけを行う場合があります。

(3) 運営側の対応

- ・大会運営スタッフや審判員にも健康チェックシートを実施する。
- ・各チームに消毒液を配布し、大会期間中の利用推進を図る。
- ・選手やチームを集めるなど密集がないように配慮する。

例：試合前の整列は監督またはキャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列することを省く、などによる感染防止対策を適宜実施します。

2【熱中症対策について注意事項】

新型コロナウイルス感染症の影響からスポーツ活動が自粛され、基礎体力が低下していることが予想されます。この状況下において急激な運動負荷は怪我や故障のリスクが高まるだけでなく、熱中症のリスクも高まります。

各チームや大会参加者、関係者各々が熱中症へのリスクを考慮し、適宜水分補給を行う等の特段の警戒が必要です。

3【その他】

本ガイドラインは2020年7月3日時点の内容であり、その後の状況等により改訂する場合がございます。

なお大会運営上、参加チームの方々にガイドラインに記載のない事項をお願いすることもあるかもしれませんが、その場合は事前に双方確認のうえ対応させていただきます。